

Oracle.1z0-1072-23.v2024-02-08.q39

試験コード:	1z0-1072-23
試験名称:	Oracle Cloud Infrastructure 2023 Architect Associate
認定資格:	Oracle
無料問題数:	39
バージョン:	v2024-02-08
アクセス数:	266
ページビュー数:	390
https://www.jpnpdf.com/Oracle.1z0-1072-23.v2024-02-08.q39-mondaishu.html	

最新問題: 1

あなたは、オンプレミス環境で実行されている一連のワークロード インスタンスを管理するチームの一員です。アーキテクト チームは、これらのインスタンスからログを収集するためにOracle Cloud Infrastructure (OCI) Loggingサービスを設計および構成する任務を負っています。これらのインスタンスの情報レベルのロギング データをOCIオブジェクト ストレージにアーカイブする必要があります。

これを達成するのに役立つ OCI の 2 つの機能はどれですか？

- A. クラウド エージェント プラグイン
- B. グループ化関数
- C. サービス コネクタ
- D. エージェント構成
- E. オブジェクトコレクションルール

Answer: ([解答を表示する](#))

Cloud Agent Plugin と Service Connectors は、オンプレミス インスタンスからログを収集し、OCI Object Storage にアーカイブするのに役立つ OCI の 2 つの機能です。Cloud Agent Plugin は、Linux または Windows インスタンスにインストールしてログを収集し、OCI に送信できる OCI ロギング サービスのコンポーネントです。サービス コネクタは、ロギングやオブジェクト ストレージなどの異なるOCIサービス間でデータを転送できるOCIサービス コネクタ ハブのコンポーネントです。他のオプションはこの要件には関係ありません。参照: [クラウド エージェント プラグイン]、[サービス コネクタ]

最新問題: 2

大きなファイル(3 TiB)をOracle Cloud Infrastructure (OCI) Object Storageにアップロードする予定です。アップロード中のネットワーク障害の影響を最小限に抑えたいため、マルチパートアップロード機能を使用することにしました。

Multipart Upload API を使用したマルチパート アップロードの実行について正しい 2 つの記述はどれですか？

- A. オブジェクトを複数の部分に分割する必要はありません。Object Storage はオブジェクトを複数の部分に分割し、すべての部分を自動的にアップロードします。
- B. マルチパートのアップロードがまだアクティブである間、合計数が 10,000 未満である限り、パートを追加し続けることができます。
- C. すべてのオブジェクト部分をアップロードした後にアップロードをコミットする必要はありません。
- D. オブジェクトを個別の部分に分割すると、各部分のサイズが 50 GiB に達する可能性があります。

Answer: B,D (メッセージを残す)

説明

マルチパートアップロードがまだアクティブである間は、合計数が以下である限り、パートを追加し続けることができます。

10,000。オブジェクトを個別の部分に分割すると、各部分のサイズが 50 GiB に達する可能性があります。マルチパートアップロードを使用すると、大きなオブジェクトを分割してアップロードできるため、パフォーマンスと信頼性が向上するという説明があります。オブジェクトを自分でパーツに分割し、Multipart Upload API を使用して各パーツを個別にアップロードする必要があります。アップロードあたりの最大パーツ数 10,000 に達するまで、アクティブなマルチパートアップロードにパーツを追加できます。各部分のサイズは 10 MiB ~ 50 GiB の範囲になります。ただし、最後の部分は任意のサイズにできます。

最新問題: 3

あなたは会社のクラウド アーキテクトとして、CEO からスタッフ ミーティングに招待されました。彼らは、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)をロンドンの別のクラウドプロバイダーに相互接続することについて、いくつかの特定の要件を備えた意見を求めています。

* 他のクラウドプロバイダーのリソースが OCI Autonomous Data Warehouse ML 機能を活用できるようにしたいと考えています。

* OCI と他のクラウドプロバイダー間の接続は、できるだけ早くプロビジョニングする必要があります。

* 接続は高帯域幅と予測可能なパフォーマンスを提供する必要があります。

OCI と相互接続し、上記の要件を満たすために、他のどのクラウド プロバイダーを推奨しますか？

- A. IBM クラウド
- B. Google Cloud
- C. OCI
- D. Microsoft Azure
- E. デジタル オーシャン
- F. アマゾン ウェブ サービス
- G. アリババクラウド

Answer: D (メッセージを残す)

説明

Microsoft Azure は、ロンドンに OCI との相互接続拠点を持つクラウド プロバイダーの 1 つであるという説明です。これは、OCI FastConnect を使用して、高帯域幅と予測可能なパフォーマンスを備えた OCI とロンドンの Azure 間のプライベート専用接続を確立できることを意味します。この接続により、プライベート IP アドレスを使用してリージョン間で OCI サービスにアクセスできるため、Azure リソースから OCI Autonomous Data Warehouse ML 機能を活用することもできます。相互接続の場所は、OCI および Azure のコンソールまたは API を使用して迅速にプロビジョニングできます。

最新問題: 4

XYZ 社は、現在のクラウド プロバイダーとの北米でのアウトバウンド データ転送に消費する 7 ペタバイトの下り料金として、月額 300,000.00 米ドルを費やしています。同社は消費量を減らすことなく、その出費を大幅に削減しようとしている。北米でのギガバイト送信データ転送の料金は月額わずか 0.0085 米ドルであるため、OCI への移行を提案します。OCI を使用すると、7 ペタバイトのアウトバウンド データ転送に月額いくらがかかりますか? (1 ペタバイト = 1000 テラバイト)

- A. \$59,500.00
- B. \$150,000.00
- C. \$59,415.00
- D. \$0.00 (OCI では無料)

Answer: A (メッセージを残す)

\$59,415.00 は、XYZ 社が OCI を使用した北米での 7 ペタバイトのアウトバウンド データ転送に毎月費やす金額です。これは、7 ペタバイトに 1000 テラバイトを乗算し (ペタバイトをテラバイトに変換するため)、次に 0.0085 USD (北米におけるギガバイトのアウトバウンド データ転送あたりのコスト) を乗算し、1000 で割ることによって計算されます (ギガバイトをテラバイトに変換するため)。式は次のとおりです。

$$(7 * 1000 * 0.0085) / 1000 = \$59,415.00$$

最新問題: 5

オンプレミスのデータを Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Object Storage Service にバックアップしています。

要件は次のとおりです。

1. バックアップは少なくとも丸 31 日間保持する必要があります。
2. バックアップ後、必要に応じてすぐにデータにアクセスできる必要があります。

コストを最小限に抑えるためにバックアップを保存するには、どの OCI オブジェクトストレージ層が適していますか?

- A. 低頻度アクセス層
- B. アーカイブ層
- C. 標準レベル
- D. 自動階層化層

Answer: (解答を表示する)

説明

その説明は、低頻度アクセス層は、アクセス頻度は低いが、必要なときに即時アクセスが必要なデータの保存に適しているということです。低頻度アクセス層は、標準層よりもストレージコストが低くなりますが、取得コストは高くなります。低頻度アクセス層には、最低ストレージ期間が30日間あります。つまり、その期間より前にデータを削除または移動した場合でも、少なくとも30日間のストレージに対して料金が請求されます。

最新問題: 6

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)のファイル・システム・レプリケーションに関して正しいのはどれですか？

- A. あるファイル システムのデータを、同じリージョン内の別のファイル システムにのみレプリケートできます。
- B. あるファイル システムのデータを、同じリージョンまたは異なるリージョンにある別のファイル システムにレプリケートできます。
- C. エクスポートされたファイル システムのみをターゲット ファイル システムとして使用できません。
- D. レプリケーション リソースの作成時にレプリケーション間隔を指定することはできません。

Answer: B (メッセージを残す)

あるファイル・システムのデータを、同じリージョンまたは異なるリージョンにある別のファイル・システムにレプリケートできることは、OCIでのファイル・システム・レプリケーションに関する真実の説明です。ファイル システム レプリケーションは、ユーザーが同じリージョン内またはリージョン間で、別のファイル システムにファイル システムのコピーを作成できるようにする機能です。これは、災害復旧、データ移行、またはデータ配布の目的に役立ちます。OCIでのファイル システム レプリケーションに関する他の記述は誤りです。参考：「ファイルシステムレプリケーション」

最新問題: 7

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)の複数のコンピューティング・インスタンスにわたる複数のストレージ ボリュームで構成されるエンタープライズ・アプリケーションを作成および保守する責任があります。

ストレージ ボリュームには、データ ストレージのブート ボリュームとブロック ボリュームが含まれます。ブート ボリュームのバックアップは毎日実行され、ブロック ボリュームのバックアップは6時間ごとに作成される必要があります。

どうすればこの要件を満たすことができるでしょうか？

- A. すべてのブート ボリュームとブロック ボリュームのクローンを一度に1つずつ作成します。
- B. ブート ボリュームをボリューム グループにグループ化し、カスタム バックアップ ポリシーを作成します。ブロック ボリュームをグループ化し、カスタム バックアップ ポリシーを作成します。

C. ブロック ボリュームのオンデマンド完全バックアップを作成し、ブート ボリュームからカスタム イメージを作成します。特定の時間に実行する関数を使用して、バックアップ プロセスを開始します。

D. 複数のストレージ ボリュームをボリューム グループにグループ化し、ボリューム グループのバックアップを作成します。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

ブート ボリュームをボリューム グループにグループ化し、カスタム バックアップ ポリシーを作成します。ブロック ボリュームをグループ化し、カスタム バックアップ ポリシーを作成します。その説明は、ボリューム グループは、一貫したポイント イン タイム スナップショットとして一緒にバックアップできるブロック ボリュームとブート ボリュームの論理的な集合であるということです。ボリューム グループごとにカスタム バックアップ ポリシーを作成し、バックアップの頻度と保存期間を指定できます。

このようにして、さまざまな種類のボリュームのさまざまなバックアップ要件を満たすことができます。

最新問題: 8

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)のプライベートIPアドレスに関して正しい2つの記述はどれですか？

A. 各 VNIC はプライベート IP アドレスを 1 つだけ持つことができます。

B. デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスがあります。

C. デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスと 1 つのセカンダリ プライベート IP アドレスがあります。

D. プライベート IP がパブリック サブネット内に存在する場合、プライベート IP にオプションのパブリック IP を割り当てることができます。

Answer: B,D ([メッセージを残す](#))

デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスがあります。プライベート IP がパブリック サブネット内に存在する場合、プライベート IP にオプションのパブリック IP を割り当てることができます。説明によると、プライベートIPアドレスはVNICに割り当てられ、VCNまたはサブネットのCIDRブロックに属するIPv4アドレスです。デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスがあり、これは OCI によって自動的に割り当てられ、変更できません。ただし、手動または自動で、VNIC ごとに最大 31 個のセカンダリ プライベート IP アドレスを VNIC に割り当てることができます。プライベート IP アドレスにはオプションのパブリック IP アドレスを割り当てることができ、これによりインスタンスがインターネットと通信できるようになります。パブリック IP アドレスは、インスタンスの停止または終了後に保持するかどうかに応じて、一時的なアドレスまたは予約されたアドレスのいずれかになります。プライベート IP アドレスにパブリック IP アドレスを割り当てることができるのは、プライベート IP ア

ドレスがパブリック サブネット内に存在する場合のみです。つまり、サブネットのルート テーブルにトラフィックをインターネット ゲートウェイに送信するルート ルールがあることを意味します。

最新問題: 9

VCNウィザードを使用してOracle Cloud Infrastructure (OCI) Virtual Cloud Network (VCN)を作成する場合、どの3つのゲートウェイが自動的に作成されますか？

- A. インターネット ゲートウェイ
- B. ローカル ピアリング ゲートウェイ
- C. ダイナミック ルーティング ゲートウェイ
- D. NAT ゲートウェイ
- E. ストレージ ゲートウェイ
- F. 要塞ホスト
- G. サービスゲートウェイ

Answer: A,D,G (メッセージを残す)

インターネット ゲートウェイ、NATゲートウェイおよびサービス ゲートウェイは、VCNウィザードでVCNを作成するときに自動的に作成される3つのゲートウェイです。インターネット ゲートウェイにより、VCNとインターネット間のパブリック ・トラフィックが可能になります。NATゲートウェイにより、VCNリソースを受信インターネット接続に公開することなく、VCNからのプライベート ・トラフィックがインターネットにアクセスできるようになります。サービス ゲートウェイを使用すると、VCNからのプライベート ・トラフィックがオブジェクト ・ストレージ、電子メール配信、通知などのOCIサービスにアクセスできるようになります。他のオプションはVCNウィザードによって自動的に作成されませんが、必要に応じて後で手動で追加できます。参考: [VCNウィザード]、[ゲートウェイ]

最新問題: 10

インスタンス上で実行されているアプリケーションがユーザー資格証明を構成せずにOracle CloudInfrastructure (OCI)パブリック ・サービスを呼び出せるように、インスタンス ・プリンシパルを設定する必要があります。

チームの開発者は、OCISDKを使用して構築されたアプリケーションを、インスタンス ・プリンシパル ・プロバイダを使用して認証するようにすでに構成しています。

この設定を完了するために必要な手順はどれですか？

- A. 一致ルールを使用して動的グループを作成し、どのインスタンスがサービスに対して API 呼び出しを実行できるかを指定します。
- B. 動的グループ内のインスタンスが API で認証できるようにするための認証トークンを生成します。
- C. コンパートメントまたはテナント内のサービスにアクセスするための権限を動的グループに付与するポリシーを作成します。
- D. 動的グループに属するすべてのインスタンスにアプリケーションと SDK をデプロイします。

Answer: B (メッセージを残す)

説明

動的グループ内のインスタンスが API で認証できるようにするための認証トークンの生成は、この設定を完了するために必要な手順ではありません。これは、OCI サービスへの API 呼び出しを行うときに、インスタンスではなくユーザーの認証に認証トークンが使用されるためです。インスタンス プリンシパルは、ユーザーの資格情報や認証トークンを必要とせずに、インスタンスが証明書を使用して自身を認証できるようにする機能です。他のオプションは、動的グループ内のインスタンスがインスタンス プリンシパルと IAM ポリシーを使用してサービスに対して API 呼び出しを実行できるようにするために、このセットアップを完了するために必要な手順です。参照: [インスタンス プリンシパル]、[認証トークン]

最新問題: 11

あなたはネットワーク アーキテクトとして、オンプレミス データ センターから us-ashburn-1 リージョンの仮想クラウド ネットワーク (VCN) への完全な冗長接続を作成するという任務を負っています。この要件を達成できる 2 つのオプションはどれですか？

- A. 2 つの FastConnect 仮想回線を us-ashburn-1 リージョンに構成し、オンプレミスのさまざまなハードウェアで終端します。
- B. 単一のオンプレミス CPE からサイト間 VPN を構成します。
- C. 1 つの FastConnect 仮想回線を us-ashburn-1 リージョンに構成し、2 番目の FastConnect 仮想回線を us-phoenix-1 リージョンに構成します。
- D. 1 つの FastConnect 仮想回線を us-ashburn-1 リージョンに構成し、サイト間 VPN を usashburn-1 リージョンに構成します。

Answer: A,D (メッセージを残す)

2 つの FastConnect 仮想回線を us-ashburn-1 リージョンに構成し、オンプレミスのさまざまなハードウェアで終端します。1 つの FastConnect 仮想回線を us-ashburn-1 リージョンに構成し、サイト間 VPN を us-ashburn-1 リージョンに構成します。その説明によると、FastConnectは、オンプレミス ネットワークとOCIのVCNの間にプライベートな専用接続を提供するサービスです。FastConnect は、パブリック インターネット接続よりも高い帯域幅、低い遅延、およびより安定したネットワーク パフォーマンスを提供します。オンプレミスのデータセンターからus-ashburn-1リージョンのVCNへの完全な冗長接続を作成するには、2つのFastConnect仮想回線を同じリージョンに構成してオンプレミスのさまざまなハードウェアで終端するか、1つのFastConnect仮想回線を構成します。バックアップ オプションとして、リージョンへのFastConnect 仮想回線と同じリージョンへのサイト間 VPN。

最新問題: 12

Cloud Guard がテナント全体のセキュリティ体制の向上に役立つ 2 つの方法はどれですか？

- A. 不正なユーザーまたは不審なユーザーのアクティビティを監視します。
- B. 暗号化キーを一元管理できます。
- C. Oracle Cloud Infrastructure (OCI)のリソースに誤った構成が作成されるのを防ぎます。

D. 機密データをマスクし、Oracle データベースのセキュリティ制御を監視します。

E. パブリックにアクセス可能な Object Storage バケット、インスタンス、セキュリティ リストの制限されたポートなど、構成が間違っているリソースの検出に役立ちます。

Answer: A,E (メッセージを残す)

未承認または不審なユーザー アクティビティを監視し、OCIのリソースに誤った構成が作成されるのを防ぎ、パブリックにアクセス可能なオブジェクト ストレージのバケット、インスタンス、セキュリティ リストの制限されたポートなどの誤った構成のリソースの検出に役立ちます。その説明によると、Cloud Guard は、クラウド リソースの可視性を提供し、セキュリティの構成ミスや脅威を特定し、それらを修復するための修正措置を講じることにより、テナントのセキュリティ体制を改善するのに役立つサービスです。Cloud Guard は、データ コレクターと検出器を使用してユーザー アクティビティとリソース構成を監視し、事前定義またはカスタム ルールに照らして評価し、重大度レベルに基づいて問題と推奨事項を生成し、レスポンスを実行して問題を自動または手動で修正します。

最新問題: 13

選択したリージョンとテナント内のすべての仮想クラウド ネットワーク (VCN) の実装されたトポロジの図を提供するツールはどれですか？

A. ネットワーク ウォッチャー

B. トラフィック分析

C. VCNフロー ログ

D. ネットワーク ビジュアライザー

Answer: D (メッセージを残す)

Network Visualizerは、選択したリージョンおよびテナント内のすべてのVCNの実装されたトポロジの図を提供するツールです。Network Visualizer は、ユーザーがグラフィカル インターフェイスでネットワーク リソースを表示および管理できるようにする OCI Networking サービスの機能です。これは、ユーザーがネットワーク トポロジを理解し、問題をトラブルシューティングし、パフォーマンスを最適化するのに役立ちます。他のオプションは、VCNトポロジの図を提供するツールではなく、OCIネットワーキングの他の機能またはサービスを提供します。参考：【ネットワークビジュアライザー】

最新問題: 14

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)で実行されているインスタンスがあり、インフラストラクチャ・メンテナンス イベント中にライブ・マイグレーションできません。OCIは14～16日以内にメンテナンス期限をスケジュールし、通知を送信します。

スケジュールされたメンテナンス期限前にインスタンスをプロアクティブに再起動しないことを選択した場合はどうなりますか？

A. 今後 14 日以内に再起動を求める別の通知が届きます。

B. 今後 7 日以内に再起動を求める別の通知が届きます。

C. インスタンスは終了されます。

D. インスタンスは再起動移行されるか、適切な場所に再構築されます。

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

予定されたメンテナンス期限前にインスタンスを事前に再起動しないことを選択した場合、インスタンスは再起動移行されるか、適切な場所に再構築されます。再起動移行は、OCIが構成やパブリックIPアドレスを変更せずにインスタンスを新しい物理ホストに移行するプロセスです。インプレース再構築は、OCIがインスタンスをシャットダウンし、物理ホストでメンテナンスを実行し、同じ構成とパブリックIPアドレスを使用してインスタンスを再起動するプロセスです。他のオプションは正しくありません。参考: [再起動 - 移行]、[再構築]

最新問題: 15

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Virtual Cloud Network (VCN) の有効なアプローチではないものはどれですか？

- A. VCNまたはサブネット内ですべてのIPアドレスが一度に割り当てられないようにしてください。代わりに、将来の使用のためにいくつかのIPアドレスを予約します。
- B. OCIタグを使用してVCNリソースにタグを付け、すべてのリソースが組織のタグ付け/命名規則に従うようにします。
- C. プライベートサブネットには、理想的にはVCN内外のトラフィックフローを制御するための個別のルートテーブルが必要です。
- D. VCN CIDRプレフィックスがテナント内の他のVCNまたは組織のプライベートIPネットワーク範囲と重複していることを確認してください。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

VCN CIDRプレフィックスがテナント内の他のVCNまたは組織のプライベートIPネットワーク範囲と重複していることを確認してください。その説明は、VCN CIDRプレフィックスはVCNとそのサブネット内で使用できるIPv4アドレスの範囲であるということです。VCN CIDRプレフィックスは、ルーティングの競合や接続の問題が発生する可能性があるため、テナント内の他のVCNや組織のプライベートIPネットワーク範囲と重複しないようにしてください。現在および将来のニーズに対応できる十分な大きさでありながら、IPアドレスを無駄にするほど大きすぎないVCN CIDRプレフィックスを選択する必要があります。VCN CIDRプレフィックスには、RFC 1918で指定されているプライベートIPv4アドレス範囲のいずれかを使用できます。

最新問題: 16

ある金融会社は、高可用性と耐障害性を備えたオンライン取引プラットフォーム用のアプリケーションアーキテクチャを設計しています。

同社のソリューションアーキテクトは、米国西部 (us-phoenix-1) リージョンにある Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Object Storagebucket を使用して大量の財務データを保存するようにアプリケーションを構成しました。可用性ドメインの1つまたはリージョン全体で障害が発生した場合でも、バケットに保存されている財務データは影響を受けません。

コストのかかるサービスの中断を回避し、データの耐久性を確保するには、アーキテクトは何をすべきでしょうか？

- A. 別の OCI リージョンの別のバケットにデータを送信するレプリケーション ポリシーを作成します。
- B. Object Storage バケットをブロック ボリュームにコピーします。
- C. 標準ストレージからアーカイブストレージにデータを定期的に送信するライフサイクル ポリシーを作成します。
- D. 別のリージョンに新しいオブジェクトストレージバケットを作成し、データを次の間隔で移動するようにライフサイクルポリシーを構成します。
5日間。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

別のOCIリージョンの別のバケットにデータを送信するためのレプリケーション ポリシーを作成します。その説明によると、レプリケーションはオブジェクトストレージの機能であり、同じリージョン内または別のリージョン内にあるバケットから別のバケットにオブジェクトを自動的にコピーできるようになります。レプリケーションは、データの可用性と耐久性を向上させるだけでなく、コンプライアンスと災害復旧の要件を満たすのにも役立ちます。レプリケーションを有効にするには、ソースバケットと宛先バケット、レプリケーション頻度、レプリケーションフィルタを指定するレプリケーションポリシーを作成する必要があります。レプリケーションポリシーは5分ごとに評価され、新しいオブジェクトまたは更新されたオブジェクトがあれば、ソースバケットから宛先バケットにコピーされます。

有効な **1z0-1072-23** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1072-23 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1072-23** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1z0-1072-23 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1z0-1072-23 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1072-23-mondaishu.html> (**5730%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード:

Freepdfdumps)

最新問題: 17

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) DBシステムをプロビジョニングする前に何を作成する必要がありますか？

- A. オブジェクトストレージ内のバケット
- B. 仮想クラウドネットワーク
- C. コンピューティングインスタンス
- D. コンパートメント

Answer: ([解答を表示する](#))

説明によると、Virtual Cloud Network (VCN) は、コンピューティングインスタンスやデータベースなどのクラウドリソースに接続するために OCI で設定するソフトウェア定義のネットワークです。VCNを使用すると、独自のIPアドレス範囲の選択、サブネット、ルート表、ゲートウェイ、セ

セキュリティ・リストの作成など、ネットワーク環境を完全に制御できます。必要に応じて、OCI DB システムをプロビジョニングする前にVCNを作成する必要があります。DBシステムを起動するVCN内のサブネットを指定します。

最新問題: 18

エンドユーザーの場所に基づいて、DNS トラフィックをさまざまなエンドポイントに分散したいと考えています。どのトラフィック管理ステアリング ポリシーを使用しますか？

- A. IP プレフィックス
- B. ロードバランサ
- C. 地理位置情報
- D. フェイルオーバー

Answer: ([解答を表示する](#))

説明によると、地理位置情報はトラフィック管理ステアリング ポリシーの一種であり、エンドユーザーの位置に基づいて DNS トラフィックをさまざまなエンドポイントに分散できるようになります。地理位置情報ステアリング ポリシーは、サードパーティ プロバイダーからの地理位置情報データを使用して、エンドユーザーの IP アドレスを地理的領域にマッピングします。地域または国ごとにどのエンドポイントを提供するかを指定するルールを作成したり、未指定の地域にデフォルトのエンドポイントを使用したりできます。

最新問題: 19

OCI Confidential Computing の主要な機能と利点を正確に説明しているのはどれですか？

- A. 使用中のデータとそのデータを処理するアプリケーションを暗号化して分離し、不正なアクセスや変更を防ぎます。
- B. 高度なルーティング アルゴリズムとキャッシュ メカニズムを通じて、ネットワーク パフォーマンスを最適化し、遅延を削減します。
- C. ユーザーは分散ファイル システムを使用してデータを安全に保存および取得できるため、高可用性とフォールト トレランスが確保されます。
- D. 自動スケーラビリティと負荷分散機能を提供し、他のクラウド プロバイダーとのシームレスな統合を可能にします。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

使用中のデータとそのデータを処理するアプリケーションを暗号化して隔離することで、不正なアクセスや変更を防止します。これは、OCI Confidential Computing の主要な機能と利点を正確に表しています。Confidential Computing は、ハードウェアベースの信頼できる実行環境 (TEE) を利用して、CPU またはメモリによる使用中のデータとアプリケーションを不正なアクセスや変更から保護する機能です。これにより、保存中および転送中のデータだけでなく使用中のデータも保護されるため、クラウド コンピューティングに追加のセキュリティ層が追加されます。他のオプションは、OCI Confidential Computing の主要な機能と利点を正確に説明したものではありません。参考文献: [Confidential Computing]

最新問題: 20

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Block Volumeサービス内で有効でないアクションはどれですか？

- A. オフラインのサイズ変更を使用して、既存のボリュームを適切な場所に拡張します。
- B. ボリューム バックアップからより大きなボリュームに復元します。
- C. ブロック ボリュームを別の可用性ドメインのインスタンスに接続します。
- D. 既存のボリュームを新しい、より大きなボリュームにクローン作成します。

Answer: C (メッセージを残す)

ブロック ボリュームを別の可用性ドメインのインスタンスにアタッチすることは、OCI ブロック ボリューム サービス内では有効なアクションではありません。ブロック ボリュームは、同じ可用性ドメイン内のインスタンスにのみ接続できます。他のオプションは、Block Volume サービスで実行できる有効なアクションです。参考：「ブロックボリュームアクション」

最新問題: 21

DevOps チームは、オンプレミス ネットワークを、プライベート サブネットに存在する管理対象データベースなどの Oracle Cloud Infrastructure (OCI) リソースに相互接続する必要があります。これらは、予算が低く、帯域幅要件が最小限であることを示しているため、サイト間 VPN が最良の選択肢であると判断します。

彼らはルーターのパブリック IP アドレスを提供します。このルーターを表すオブジェクトを OCI に作成する必要があります。どのオブジェクトを作成しますか？

- A. インターネット ゲートウェイ
- B. ダイナミック ルーティング ゲートウェイ (DRG)
- C. 顧客宅内機器 (CPE)
- D. 仮想ネットワーク インターフェイス カード (vNIC)
- E. IPSec トンネル
- F. 要塞ホスト

Answer: C (メッセージを残す)

顧客宅内機器 (CPE)。その説明は、CPEは、サイト間VPNを介してVCNに接続するオンプレミス・ルーターまたはVPNデバイスを表すOCIのオブジェクトであるということです。サイト間VPNは、パブリック・インターネットを介したオンプレミス・ネットワークとVCN間の安全で暗号化された接続です。サイト間 VPN を設定するには、ルーターのパブリック IP アドレスと、ベンダーやプラットフォームなどのその他の情報を使用して CPE オブジェクトを作成する必要があります。また、VCNにダイナミック ルーティング ゲートウェイ(DRG)オブジェクトを作成し、それをVCNにアタッチする必要があります。次に、CPE と DRG の間に IPSec 接続を作成する必要があります。これにより、高可用性のために 2 つの冗長 VPN トンネルが作成されます。

最新問題: 22

OCI Object Storage バケットにオブジェクトが保存されており、パートナー企業と共有したいと考えています。事前認証されたリクエストを使用してオブジェクトへのアクセスを許可することにしました。事前認証されたリクエストに関して正しいのはどれですか？

- A. 事前認証されたリクエストは編集できません。
- B. 事前認証されたリクエストを削除しても、関連付けられたバケットまたはオブジェクトへのユーザー アクセスは取り消されません。
- C. OCI 資格情報をパートナー企業に提供する必要があります。
- D. 事前認証されたリクエストを使用して、バケットまたはオブジェクトを削除できます。

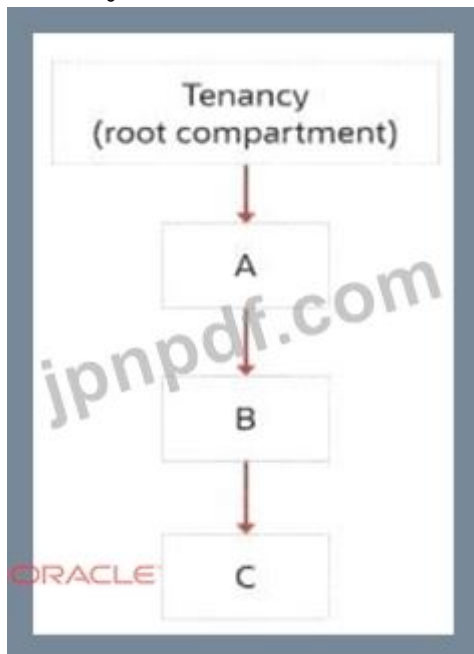
Answer: [\(解答を表示する\)](#)

事前認証されたリクエストは編集できないというのは、事前認証されたリクエストに関する正しい記述です。事前認証リクエストは、ユーザーが追加の認証や認可を必要とせずにOCIオブジェクト・ストレージ内のオブジェクトまたはバケットにアクセスできるようにするURLです。事前認証されたリクエストは有効期限の日時を指定して作成でき、読み取りまたは書き込み操作に使用できます。ただし、事前認証リクエストは作成後に編集することはできず、削除または拡張のみ可能です。事前認証されたリクエストに関する他の記述は誤りです。参考：事前認証リクエスト】

最新問題: 23

NetworkAdmins グループが仮想クラウド ネットワーク (VCN) インコンパートメント C を管理できるようにするポリシーを作成したいと考えています。

このポリシーをテナントにアタッチしたいと考えています。コンパートメントの階層を以下に示します。



このタスクを達成するにはどのポリシー ステートメントを使用できますか？

- A. グループ NetworkAdmins がコンパートメント B:C の仮想ネットワーク ファミリを管理できるようにします
- B. グループ NetworkAdmins がコンパートメント C の仮想ネットワーク ファミリを管理できるようにします

C. グループ NetworkAdmins がテナント内の仮想ネットワーク ファミリを管理できるようにします

D. グループ NetworkAdmins がコンパートメント A:B:C の仮想ネットワーク ファミリを管理できるようにします

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

グループ NetworkAdmins がコンパートメント A:B:C の仮想ネットワーク ファミリを管理できるようにします。その説明は、ポリシーをテナントにアタッチするときに、アクセス許可を付与するコンパートメントのフルパスを指定する必要があるということです。この場合、コンパートメント C は、ルート コンパートメント (テナント) のサブコンパートメントであるコンパートメント A のサブコンパートメントであるコンパートメント B のサブコンパートメントです。

したがって、コンパートメント C のフルパスは A:B:C になります。virtual-network-family リソース タイプには、サブネット、ルート表、セキュリティ リスト、ゲートウェイなど、VCNに関連するすべてのリソースが含まれます。

最新問題: 24

エンド ユーザーの場所に基づいて、DNS トラフィックをさまざまなエンドポイントに分散したいと考えています。どの TrafficManagement ステアリング ポリシーを使用しますか？

A. IP プレフィックス

B. ロードバランサ

C. 地理位置情報

D. フェイルオーバー

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

説明によると、地理位置情報はトラフィック管理ステアリング ポリシーの一種であり、エンド ユーザーの位置に基づいて DNS トラフィックをさまざまなエンドポイントに分散できるようになります。地理位置情報ステアリング ポリシーは、サードパーティ プロバイダーからの地理位置情報データを使用して、エンド ユーザーの IP アドレスを地理的領域にマッピングします。

地域または国ごとにどのエンドポイントを提供するかを指定するルールを作成したり、未指定の地域にデフォルトのエンドポイントを使用したりできます。

最新問題: 25

同社は、利用者がプリントしたい写真をプレビューできるサービスを写真家に販売しています。不正コピーを避けるため、サンプル写真の解像度は低くなり、透かしが入っています。写真はアップロード後に処理されます。このプロセスは高速ですが、即時ではありません。サンプルを作成し、インスタンスの外部のストレージに送信します。このようなプロセスにはどのタイプのインスタンスが最適ですか。寿命が短く、コストを低く抑えられるものはありますか？

A. プリエンプティブル インスタンス

B. スポット インスタンス

C. オンデマンド インスタンス

D. バースト可能なインスタンス

Answer: A (メッセージを残す)

説明によると、プリエンपティブル インスタンスは、通常のインスタンスよりもコストが低い VM インスタンスですが、容量の制約により、または最大 24 時間の実行後に、いつでも OCI によって再利用できるということです。プリエンプティブル インスタンスは、中断を許容し、可用性やパフォーマンスの保証を必要としない、短期間のステートレス ワークロードに最適です。プリエンプティブル インスタンスは、通常のインスタンスよりも低い固定レートで秒単位で請求されます。

最新問題: 26

ネットワークアーキテクトとして、あなたは次のセキュリティリストを使用して仮想クラウドネットワーク(VCN)にパブリックサブネットをデプロイしました:

Type	Direction	CIDR	Protocol	Source Port	Destination Port
Stateful	Ingress	0.0.0.0/0	TCP	All	80
Stateful	Egress	10.0.2.0/24	TCP	All	1521
Stateful	Ingress	10.0.2.0/24	TCP	All	21
Stateful	Ingress	10.0.2.0/24	TCP	All	80

また、次の表に示すようにネットワーク セキュリティ グループ (NSG) を作成し、要塞ホストに割り当てました。

Type	Direction	CIDR	Protocol	Source Port	Destination Port
Stateful	Ingress	0.0.0.0/0	TCP	All	21
Stateful	Ingress	0.0.0.0/0	TCP	All	443
Stateful	Ingress	10.0.2.0/24	TCP	All	22

ルーティングが正しいことは確認されましたが、自宅からインターネット経由で VM に SSH 接続すると接続できません。

何が問題なのでしょう?

- A. NSG で SSH が開いているため、ユーザーはインターネットから VM に SSH 接続できるようになります。
- B. パブリック サブネットには、インターネット ゲートウェイへのルート ルールがありません。
- C. インターネット トラフィックは NSG でのみ許可される必要があります。
- D. インターネットからの SSH トラフィックはセキュリティ リストでも NSG でも許可されません。

Answer: (解答を表示する)

説明

インターネットからの SSH トラフィックはセキュリティ リストでも NSG でも許可されていませんが、これが正しい答えです。これは、セキュリティ リストがポート 22 の 10.0.0.24 からの入力トラフィックのみを許可し、NSG がポート 22 の 10.0.0.0/16 からの入力トラフィックのみを許可するためです。どちらも 0.0.0.0/0 (インターネット) からの入力トラフィックは許可しません。) ポート上

22. SSH アクセスに必要です。他のオプションは、SSH アクセスが不可能な理由を説明していないため、正しくありません。参照: [セキュリティ リスト],[ネットワーク セキュリティ グループ]

最新問題: 27

Monitoring でメトリック データのクエリを定義する場合、メトリック グラフ上にプロットされたメトリック データ ポイントを集計するための時間枠を提供するフィールドはどれですか？

- A. 寸法
- B. 名前空間
- C. 統計
- D. 間隔

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

間隔は、メトリック チャート上にプロットされたメトリック データ ポイントを集計するための時間枠を提供するフィールドです。間隔は、監視サービスによってメトリック データ ポイントが収集および集計される頻度を指定するパラメーターです。たとえば、5 分の間隔は、メトリック データ ポイントが 5 分ごとに集計され、グラフに表示されることを意味します。他のオプションは、メトリック データ ポイントを集計するための時間枠を提供するフィールドではなく、メトリック クエリを定義する他のパラメーターです。参考：【[インターバル](#)】

最新問題: 28

Oracle Security Zones がクラウド セキュリティ責任共有モデルを支援できる 2 つの方法はどれですか？

- A. 顧客管理のキーを使用してストレージ リソースを暗号化します。
- B. 標準コンパートメントから移動された、セキュリティで保護されていないコンパートメントへのアクセスを許可します。
- C. データベースやオブジェクト ストレージ バケットなどの Oracle Cloud Infrastructure リソースへのパブリック アクセスを拒否します。
- D. 標準コンパートメントを高度にセキュリティで保護されたセキュリティ ゾーン コンパートメントに追加または移動します。

Answer: A,C ([メッセージを残す](#))

Oracle Security Zones は、事前定義されたポリシーと制御を適用することで、ベスト プラクティスを適用し、OCI リソースの構成ミスを防止するのに役立つサービスです。セキュリティ ゾーンを使用する利点は次のとおりです。

カスタマー マネージド キーを使用してストレージ リソースを暗号化する: セキュリティ ゾーンでは、ブロック ボリューム、ブート ボリューム、ファイル システム、オブジェクト ストレージ バケットなどのすべてのストレージ リソースが、Vault のカスタマー マネージド キーを使用して暗号化される必要があります。これにより、保存データの暗号化と復号化を完全に制御できるようになります。

データベースやオブジェクト ストレージ バケットなどの OCI リソースへのパブリック アクセスを拒否する: セキュリティ ゾーンを使用すると、インターネットからアクセス可能なデータベースやオブジェクト ストレージ バケットなど、パブリック アクセスが有効になっている OCI

リソースを作成または更新できなくなります。これにより、不正アクセスやデータ漏洩のリスクが軽減されます。

最新問題: 29

ネットワークアーキテクトとして、あなたは次のセキュリティリストを使用して仮想クラウドネットワーク(VCN)にパブリックサブネットをデプロイしました:

Type	Direction	CIDR	Protocol	Source Port	Destination Port
Stateful	Ingress	0.0.0.0/0	TCP	All	80
Stateful	Egress	10.0.2.0/24	TCP	All	1521
Stateful	Ingress	10.0.2.0/24	TCP	All	21
Stateful	Ingress	10.0.2.0/24	TCP	All	80

また、次の表に示すようにネットワークセキュリティグループ(NSG)を作成し、要塞ホストに割り当てました。

Type	Direction	CIDR	Protocol	Source Port	Destination Port
Stateful	Ingress	0.0.0.0/0	TCP	All	21
Stateful	Ingress	0.0.0.0/0	TCP	All	443
Stateful	Ingress	10.0.2.0/24	TCP	All	22

ルーティングが正しいことは確認されましたが、自宅からインターネット経由で VM に SSH 接続すると接続できません。

何が問題なのでしょう?

- A. NSG で SSH が開いているため、ユーザーはインターネットから VM に SSH 接続できるようになります。
- B. パブリックサブネットには、インターネットゲートウェイへのルートルールがありません。
- C. インターネットトラフィックは NSG でのみ許可される必要があります。
- D. インターネットからの SSH トラフィックはセキュリティリストでも NSG でも許可されません。

Answer: D (メッセージを残す)

インターネットからの SSH トラフィックはセキュリティリストでも NSG でも許可されていませんが、これが正しい答えです。これは、セキュリティリストがポート 22 の 10.0.0.24 からの入力トラフィックのみを許可し、NSG がポート 22 の 10.0.0.0/16 からの入力トラフィックのみを許可するためです。どちらも 0.0.0.0/0 (インターネット) からの入力トラフィックは許可しません。) ポート 22 上。これは SSH アクセスに必要です。他のオプションは、SSH アクセスが不可能な理由を説明していないため、正しくありません。参考: 「セキュリティリスト」、 「ネットワークセキュリティグループ」

最新問題: 30

オンプレミスのデータを Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Object Storage Service にバックアップしています。

要件は次のとおりです。

1. バックアップは少なくとも丸 31 日間保持する必要があります。
2. バックアップ後、必要に応じてすぐにデータにアクセスする必要があります。

コストを最小限に抑えるためにバックアップを保存するには、どの OCI オブジェクトストレージ層が適していますか？

- A. 低頻度アクセス層
- B. アーカイブ層
- C. 標準レベル
- D. 自動階層化層

Answer: A (メッセージを残す)

その説明は、低頻度アクセス層は、アクセス頻度は低いが、必要なときに即時アクセスが必要なデータの保存に適しているということです。低頻度アクセス層は、標準層よりもストレージコストが低くなりますが、取得コストは高くなります。低頻度アクセス層には、最低ストレージ期間が30日間あります。つまり、その期間より前にデータを削除または移動した場合でも、少なくとも30日間のストレージに対して料金が請求されます。

最新問題: 31

既存のドメインをOracleCloud Infrastructure (OCI) DNSサービスに委任することについて正しいのはどれですか？

- A. ドメインは、FastConnect パートナー経由で OCI DNS に委任できます。
- B. ドメインは、OCI Marketplace から OCI DNS に委任できます。
- C. ドメインは、独自のサービス ポータルから OCI DNS に自己委任できます。
- D. ドメインは、ドメイン レジストラのセルフサービス ポータルから OCI DNS に委任できます。
- E. すべてのドメインは、DYN 経由で OCI DNS に取得できます。

Answer: (解答を表示する)

説明

ドメインは、ドメイン レジストラのセルフサービス ポータルから OCI DNS に委任できます。説明によると、ドメインを OCI DNS に委任すると、ドメインの DNS クエリを解決する権限を現在の DNS プロバイダから OCI DNS に移管することになります。ドメインを OCI DNS に委任するには、ドメイン名と一致するゾーンを OCI DNS に作成し、OCI DNS から提供するレコードを追加する必要があります。次に、ドメイン レジストラのセルフサービス ポータルでドメインのネーム サーバーを、OCI DNS によって提供されるネーム サーバーで更新する必要があります。これにより、ドメインが OCI DNS を指すようになり、ドメインの DNS クエリを解決できるようになります。

有効な **1z0-1072-23** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1072-23 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1072-23** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1z0-1072-23 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1z0-1072-23 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1072-23->

mondaishu.html (5730%OFF問題集溶と正解付きで 30%w特別割引コード:

Freepdfdumps)

最新問題: 32

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) へのアプリケーションのデプロイはお客様の責任です。アプリケーションはメモリを大量に消費するため、十分なメモリが利用できない場合はパフォーマンスが低下します。アプリケーションをホストするための Linuxcompute インスタンスのインスタンス プールを OCI に作成し、インスタンス プールの自動スケーリング構成を定義しました。アプリケーションのパフォーマンスの低下を防ぐためにインスタンス プールを自動スケーリングするにはどうすればよいですか？

- A. すべてのコンピューティング インスタンスにモニタリング エージェントをインストールします。これにより、自動スケーリング グループがトリガーされます。
- B. CPU 使用率を監視し、しきい値に達した場合にインスタンスの数をスケールアップするように自動スケーリング ポリシーを構成します。
- C. メモリ使用量を監視し、しきい値に達した場合にインスタンスの数をスケールアップするように自動スケーリング ポリシーを構成します。
- D. すべてのコンピューティング インスタンスに OCI SDK をインストールし、メモリ使用量が多い場合に自動スケーリング イベントをトリガーするスクリプトを作成します。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 33

OCI Object Storage バケットにオブジェクトが保存されており、パートナー企業と共有したいと考えています。事前認証されたリクエストを使用してオブジェクトへのアクセスを許可することにしました。事前認証されたリクエストに関して正しいのはどれですか？

- A. 事前認証されたリクエストは編集できません。
- B. 事前認証されたリクエストを削除しても、関連付けられたバケットまたはオブジェクトへのユーザー アクセスは取り消されません。
- C. OCI 資格情報をパートナー企業に提供する必要があります。
- D. 事前認証されたリクエストを使用して、バケットまたはオブジェクトを削除できます。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

事前認証されたリクエストは編集できないというのは、事前認証されたリクエストに関する正しい記述です。

事前認証リクエストは、ユーザーが追加の認証や認可を必要とせずにOCIオブジェクト・ストレージ内のオブジェクトまたはバケットにアクセスできるようにするURLです。事前認証されたリクエストは有効期限の日時を指定して作成でき、読み取りまたは書き込み操作に使用できます。ただし、事前認証リクエストは作成後に編集することはできず、削除または拡張のみ可能です。事前認証されたリクエストに関する他の記述は誤りです。参考資料: [事前認証されたリクエスト]

最新問題: 34

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Monitoring ServiceでMonitoring Query Language (MQL)式を作成する際にオプションとなるコンポーネントはどれですか？

- A. 間隔
- B. 統計
- C. 寸法
- D. グループ化関数
- E. メトリック

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

ディメンションとグループ化関数は、OCI モニタリング サービスでモニタリングクエリ言語 (MQL) 式を作成する際の 2 つのオプションのコンポーネントです。ディメンションは、リージョン、コンパートメント、リソース タイプなどのメトリックに関する追加情報を提供するキーと値のペアです。グループ化関数は、合計、カウント、平均など、1 つ以上のディメンションにわたってメトリック データを集計する関数です。他のオプションは、MQL 式の必須コンポーネントです。
参考：「[寸法図](#)」、[グループ化機能](#)」

最新問題: 35

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)コンピューティング シェイプの有効なオプションではないものはどれですか？

- A. ベアメタル
- B. 専用仮想マシン ホスト
- C. 仮想マシン
- D. Exadata 仮想マシン

Answer: D ([メッセージを残す](#))

Exadata Virtual Machine は、OCI コンピューティング シェイプの有効なオプションではありません。Exadata Virtual Machineは、OCIでOracleデータベースを実行するための専用のExadataインフラストラクチャを提供するサービスであるExadata Cloud ServiceまたはExadata Cloud@Customerのデプロイメント オプションです。Exadata Virtual Machineを使用すると、各Exadataコンピューティング ノード上に複数の仮想マシンを作成し、Oracle VMテクノロジーを使用してそれらを相互に分離できます。OCI 計算シェイプの有効なオプションは次のとおりです。

ベアメタル: ベアメタル インスタンスは、基盤となるハードウェアに直接アクセスし、他のテナントから完全に分離できる物理サーバーです。

専用仮想マシン ホスト: 専用仮想マシン ホストは、仮想マシン インスタンスのみをホストし、他のテナントのインスタンスはホストしない物理サーバーです。

仮想マシン: 仮想マシン インスタンスは、他のテナントのインスタンスと共有物理サーバー上で実行される仮想サーバーです。

バースト可能: バースト可能インスタンスは、各 CPU コアのベースライン使用率が 12% または 50% であり、必要に応じてベースラインを超えてバーストできる仮想マシン インスタンスです。

最新問題: 36

DevOps チームは、オンプレミス ネットワークを、プライベート サブネットに存在する管理対象 データベースなどの Oracle Cloud Infrastructure (OCI) リソースに相互接続する必要があります。これらは、予算が低く、帯域幅要件が最小限であることを示しているため、サイト間 VPN が最良の選択肢であると判断します。

彼らはルーターのパブリック IP アドレスを提供します。このルーターを表すオブジェクトを OCI に作成する必要があります。どのオブジェクトを作成しますか？

- A. インターネット ゲートウェイ
- B. ダイナミック ルーティング ゲートウェイ (DRG)
- C. 顧客宅内機器 (CPE)
- D. 仮想ネットワーク インターフェイス カード (vNIC)
- E. IPSec トンネル
- F. 要塞ホスト

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

顧客宅内機器 (CPE)。その説明は、CPEは、サイト間VPNを介してVCNに接続するオンプレミス・ルーターまたはVPNデバイスを表すOCIのオブジェクトであるということです。サイト間VPNは、パブリック インターネットを介したオンプレミス ネットワークとVCN間の安全で暗号化された接続です。

サイト間 VPN を設定するには、ルーターのパブリック IP アドレスと、ベンダーやプラットフォームなどのその他の情報を使用して CPE オブジェクトを作成する必要があります。また、VCNにダイナミック ルーティング ゲートウェイ(DRG)オブジェクトを作成し、それをVCN にアタッチする必要があります。次に、CPE と DRG の間に IPSec 接続を作成する必要があります。これにより、高可用性のために 2 つの冗長 VPN トンネルが作成されます。

最新問題: 37

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) DNSサービスで利用できる機能は次の3つですか？

- A. レコードの作成と管理
- B. WAF ルールの作成と管理
- C. Identity Access Management (IAM) ポリシーの作成と管理
- D. ゾーンの作成と管理
- E. すべてのゾーンの表示
- F. セキュリティ リストの作成と管理

Answer: A,D,E ([メッセージを残す](#))

レコードの作成と管理、ゾーンの作成と管理、およびすべてのゾーンの表示は、OCI DNS サービスで使用できる 3 つの機能です。レコードは、ドメイン名を IP アドレスまたはその他の情報にマッピングするデータ要素です。ゾーンは、ドメイン名またはサブドメイン名に対応するレコー

ドのコレクションです。OCI DNS サービスを使用すると、ユーザーはドメインまたはサブドメインのレコードとゾーンを作成および管理したり、テナント内のすべてのゾーンを表示したりできます。他のオプションは、OCI DNS サービスの機能ではなく、WAF、IAM、ネットワーキングなどの他の OCI サービスの機能です。参考 [DNSサービス]、[レコード]、[ゾーン]

最新問題: 38

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)のプライベートIPアドレスに関して正しい2つの記述はどれですか？

- A. 各 VNIC はプライベート IP アドレスを 1 つだけ持つことができます。
- B. デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスがあります。
- C. デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスと 1 つのセカンダリ プライベート IP アドレスがあります。
- D. プライベート IP がパブリック サブネット内に存在する場合、プライベート IP にオプションのパブリック IP を割り当てることができます。

Answer: B,D (メッセージを残す)

説明

デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスがあります。プライベート IP がパブリック サブネット内に存在する場合、プライベート IP にオプションのパブリック IP を割り当てることができます。説明によると、プライベートIPアドレスはVNICに割り当てられ、VCNまたはサブネットのCIDRブロックに属するIPv4アドレスです。

デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスがあり、これは OCI によって自動的に割り当てられ、変更できません。ただし、手動または自動で、VNIC ごとに最大 31 個のセカンダリ プライベート IP アドレスを VNIC に割り当てることができます。プライベート IP アドレスにはオプションのパブリック IP アドレスを割り当てることができ、これによりインスタンスがインターネットと通信できるようになります。パブリック IP アドレスは、インスタンスの停止または終了後に保持するかどうかに応じて、一時的なアドレスまたは予約されたアドレスのいずれかになります。プライベート IP アドレスにパブリック IP アドレスを割り当てることができるのは、プライベート IP アドレスがパブリック サブネット内に存在する場合のみです。つまり、サブネットのルート テーブルにトラフィックをインターネット ゲートウェイに送信するルート ルールがあることを意味します。

最新問題: 39

SaaS アプリケーション、オンプレミスのエンタープライズ アプリケーション、またはクラウドでホストされます。どの IAM アイデンティティ ドメイン タイプを作成する必要がありますか？

- A. 無料
- B. Oracle Apps プレミアム
- C. プレミアム

D. 外部ユーザー

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

プレミアムは、従業員の認証と、すべての Oracle および Oracle 以外のアプリケーションへのアクセスの管理に役立つフル機能の IDaaS ソリューションが必要な場合に作成する必要がある IAM アイデンティティ ドメイン タイプです。

Premium Identity Domainは、アイデンティティ管理、シングルサインオン、多要素認証、アイデンティティガバナンス、およびサードパーティアプリケーションとの統合を提供するIDaaSソリューションであるOracle Identity Cloud Serviceへのアクセスをユーザーに提供しません。他のオプションは、フル機能の IDaaS ソリューションを提供する IAM アイデンティティ ドメイン タイプではありません。参照: [アイデンティティ ドメイン]、[Oracle Identity Cloud Service]

Valid 1z0-1072-23 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing 1z0-1072-23 Exam! GoShiken.com now offer the **newest 1z0-1072-23 exam dumps**, the GoShiken.com 1z0-1072-23 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com 1z0-1072-23 dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1072-23-mondaishu.html> (**57 Q&As Dumps, 30%OFF**

Special Discount: Freepdfdumps)